

## 令和3年度使用 中学校社会科（地理）調査資料

発行者	調査内容
東京書籍	<p>＜課題解決の流れに沿った構成について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 編の初めに小学校の学習の振り返りとグループによる協働学習が設定され、単元を貫く「探求課題」を立てて、それを受けて1時間ごとの「学習課題」が示され、生徒が主体的に学習できるよう工夫されている。探求課題解決のため、「探求ステップ」を設けている。</li> <li>○ 各見開き1時間のまとめが「チェック」「トライ」で行うことができるようになっており、学習内容の定着を図る工夫がされている。</li> <li>○ チャートシートによるまとめの例が掲載されており、生徒がまとめ作業をする際の参考となる工夫がされている。</li> </ul> <p>＜資料を読み取る力を身につけさせる上で、資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切かについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ UD書体を採用して、誰にでも見やすい工夫がされている。</li> <li>○ 本文を補完する資料を大きく掲載し、資料に付した「図番号」を本文にも付し、効果的に学習できるよう工夫している。（資料の背景は色付き）</li> <li>○ イラストを使用したり、自然や生活に関する写真を掲載したりしており、生徒がその地域を学習する際、イメージしやすいよう工夫がされている。</li> <li>○ 「スキル・アップ」を設け、学習に必要な技能の定着を図れるように工夫されている。</li> </ul>
教育出版	<p>＜課題解決の流れに沿った構成について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1時間の学習課題が明確に示され、学習課題に対応した「確認」と「表現」を設け、学習内容を振り返りながら自分の言葉で表現できるよう工夫がされている。</li> <li>○ 本文の流れに即し、資料を丁寧に読み解きながら考察する学習を重視し、「読み解こう」により、思考・判断・表現する力を育めるよう工夫されている。</li> <li>○ 三分野（地理・歴史・公民）の学びを関連づけるために、「関連」マークが設定されており、系統的な学習が展開できるように工夫されている。</li> </ul> <p>△ 「導入ページ」における資料提示の数に開きがあるため、単元を貫く課題を具現化するには、適切な資料提示等工夫が必要である。</p> <p>＜資料を読み取る力を身につけさせる上で、資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切かについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ UD書体を採用して、誰にでも見やすい工夫がされている。</li> <li>○ 「地理の窓」として51の学習コラムにより興味関心を高め、「地理の技」により基本的な地理的技能や「見方・考え方」を身につけられるよう工夫している。</li> <li>○ 本時ページ以外にも、記述を補い、生徒の興味関心を引きつける豊富な写真・図版などからなる資料ページ、まなびリンク、巻末に用語解説と統計資料がある。</li> </ul>

<p>帝国書院</p>	<p>＜課題解決の流れに沿った構成について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章の初めに「問い（単元を貫く課題）」が、章の終わりに「章の学習を振り返ろう」が明示されており、単元のまとまりで見通しをもって課題解決的な学習を進めるうえでの工夫や、振り返りの中で、思考力・判断力・表現力を高められるよう工夫されている。</li> <li>○ 各見開きに、「問い」に対応した「学習課題」が提示され、解決に向けた「確認しよう／説明しよう」を行うことで、「深い学び」につながるよう工夫がされている。</li> <li>○ 全編にわたり本文は、地理的事象のしくみや概念等の基本的な知識が理解できるように、因果関係をふまえた上で具体例を挙げながら記述されている。</li> </ul> <p>＜資料を読み取る力を身につけさせる上で、資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切かについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ UD書体を採用して、誰にでも見やすい工夫がされている。</li> <li>○ 本文の記述を補足する大きな写真や図版等豊富に掲載され、地域的特色と地域の課題の関係について読み取れるよう工夫がされている。（例：雨温図の形式が揃っている等）</li> <li>○ 地理的分野の用語を説明した「解説」が該当ページにあり、図解や写真を通して視覚的に理解が深まるよう工夫されている。</li> <li>○ 資料の読み取りのポイントを示した「資料活用」が随所に設けられ、資料の活用を通して「地理的な見方・考え方」を育めるよう、また「技能をみがく」によって、基礎的な技能が習得できるよう工夫されている。</li> </ul>
<p>日本文教出版</p>	<p>＜課題解決の流れに沿った構成について＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体的に、「導入」「大観」「主題学習等」「ふりかえり」で構成されている。学習内容を大まかにつかむとともに、1時間の学習課題が明確に示され、学習課題に対応した「見方・考え方」を働かせて、自分の考えを深めるとともに「確認」を設け、学習内容の振り返りができるよう工夫がされている。</li> <li>○ 「ふりかえり」「アクティビティ」「チャレンジ地理」を設け、学習内容の理解を深める主体的・対話的な活動ができるよう工夫されている。</li> </ul> <p>△ 単元を貫く課題を設定するためには、適切な資料を提示し、その課題解決に向けた問いの工夫等が必要である。</p> <p>＜資料を読み取る力を身につけさせる上で、資料の種類、資料提示の表現やその説明の文章は適切かについて＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ UD書体を採用して、誰にでも見やすい工夫がされている。</li> <li>○ 「トライ」により、必要な情報の読み取り等の技能を高められるよう、また「スキルUP」により、必要な技能を系統立てて習得できるよう工夫されている。</li> <li>○ 「地理+α」により、学習内容に関するトピックスや現地の人の言葉、作業学習の提案をするなど、学習を楽しく深めていけるよう工夫されている。</li> <li>○ 「地理的な見方・考え方」を繰り返し意識することで、生徒が「見方・考え方」を自ら働かせることができるよう工夫されている。</li> </ul>